

生分解性マルチの効果確認試験

JAひがしかわ

(有)ドリームファームイザワ



試験目的

生分解性マルチの効果確認試験

試験作物
及び品種

かぼちゃ

試験資材
及び数量(規格)

きえ太郎Z(0.015mm×95cm×400m) 銀ネズ 1本

慣行資材

カエルーチ(0.018mm×95cm×800m) 銀ネズ

栽培方法

定植日	収穫日	マルチ展張日
慣行区:6月上旬	慣行区:9月上旬	6月

資材使用期間

慣行区 6月上旬～9月上旬

試験結果

(1)作業性について(慣行品との比較)

展張時に裂けてしまい、思うように展張できなかった。

面積が大きく、慣行品を相当数量使用しているため、マルチャーの設定を試験品に合わせるまで変更できなかった。

(2)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】: 試験品の方が薄肉の分、軽量である。

【問題点】: 慣行品と同等の強度があるかの確認が必要。

(3)資材の強度・耐久性・崩壊性について

マルチャーの調整を行わなくても、使用できるマルチが望ましい。

モニター感想

マルチャーの設定を試験用に変えずに、展張作業を行ってみたが、結果裂けてしまい展張することができなかった。

慣行品はコンテナ単位で納品してもらうくらい多くの数量を使っており、展張・定植作業の忙しい中では、試験品用に機会を調整するに至らなかった。

もし試験品が改良されるのであれば、改めて次年度試験しても良いと考える。

JA担当者の感想(資材課 浦島 氏)

今回の試験による生分解マルチの商品について、展張作業時に商品が裂けてしまい試験ができなかったため今後改良品ができた時には再度試験していただいで、より多くの人に生分解マルチを理解していただき商品ががより普及することに期待したい。

今後の使用について

改良してほしい。